



IMAGINE
ROTARY

イマジンロータリー

2022～23年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2022～2023)

会 長/小 松 昭 二
幹 事/田 辺 豊
会報委員長/豊 島 幸 枝

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30～13:30
例会場/新ロイヤルホテル四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2734

第2865回 令和5年2月8日（晴れ）

本日のプログラム：ゲストスピーチ 森 翔太様 高知県総務部政策企画課主査
2月15日(水)：ゲストスピーチ 門田 義仁 高知第Ⅱ分区ガバナー補佐
2月22日(水)：会員スピーチ 東 邦彦会員「ロータリーの源流について」

【会長挨拶】小松 昭二会長

- ・皆さんこんにちは。本日のプログラムはゲストスピーチで、高知県総務部政策企画課主査の森翔太様です。よろしくお願いします。
- ・先日、四万十市で「四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会」が開催されました。講演は新潟県の佐渡市長の渡辺竜五様で、「人とトキが共に生きる島づくり」について話されました。日本では絶滅したと考えられていたトキが昭和6年に2羽、佐渡で発見され、翌年特別天然記念物として指定されました。佐渡市では地域住民が中心となり、トキの生息環境の保全・再生に取り組みました。その後、2008年に放鳥、10羽のトキが27年ぶりに佐渡へ、また2012年には36年ぶりに野生下でのふ化を確認。現在、462羽の放鳥を実施しています。トキの生息環境を再生するには稲作農家の理解と協力が必要で大変苦労されたようです。トキと暮らす郷「里山米」をブランド化、その他、多様な自然と伝統文化など重要な観光資源にもなっているようです。

【幹事報告】田辺 豊 幹事

- ・ガバナー事務所より
 - 1) ガバナー月信No.8 2月号回覧
 - 2) プラスチックごみ奉仕活動のお願い
 - 3) 高松グリーンRCより事務局移転の案内
 - 4) メルボルン国際大会への参加のお願い
- ・ガバナーエレクト事務所より
 - 1) 2023-24年度年度RI会長テーマ
「世界に希望を生み出そう」
 - 2) 2023-24年度地区チーム研修セミナー (DTTS) 開催のご案内 3/26 (日)
13:30～ 徳島グランヴィリオホテル
- ・理事会承認事項
創立60周年記念式典日程変更
9/30 (土) → 10/7 (土)
新ロイヤルホテル四万十
10/8 (日) 記念ゴルフコンペ



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 森 翔太様 高知県総務部政策企画課主査



■SDGsの概要

高知県庁政策企画課の森と申します。本日はSDGsの概要について説明させていただきます。

世界は、貧困、人種差別、環境破壊、近年で言えば新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻など、様々な問題に直面しています。こうした地球規模の問題を解決するために、「誰一人取り残さない」という共有理念のもと国際目標として定めたのがSDGsになります。

SDGsは「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」の頭文字をとった略称です。2030年を達成年度として、世界を変えるための17の目標と、それぞれの目標の具体的な指標を示した169のターゲットから構成されています。

SDGsの17の目標では、「社会面」、「経済面」、「環境面」の3要素の調和が求められています。

日本では、SDGsに取り組むにあたって「5つの主要原則」を掲げています。1つ目はすべての国が行動していくという原則。2つ目が「誰一人取り残さない」というSDGsの基本的理念。3つ目が民も官も学も地域も全てが参加して全員で取り組むという原則。4つ目が「社会」「経済」「環境」等すべてが統合的に取り組む原則。5つ目が全員参加型の取組でもあることから、透明性を確保していく必要があるという原則になります。

世界にはまだまだ解決されていない問題が数多く残っています。世界の5～17歳の子ども、約3億3,000万人が学校に通っていません。また7億5,000万人の読み書きができない人がいます。飢えている人がいるのに、食べ物を捨てる人もいます。また地球温暖化や海水面の上昇も進んでいます。開発途上国のみではなく、先進国も一体となって解決していくべき問題が数多くあります。

SDGsの17の目標は地球に多くの問題があることを表しています。皆さまの仕事、業務内容が社会の中で何を実現するために存在しているのか、こういった形で貢献したいのかを考えながら聞いていただくことで、自分に関連する目標が見えてくると思います。

17の目標は①「貧困をなくす」。②「飢餓をゼロに」。③「すべての人に健康と福祉を」。④「質の高い教育をみんなに」。⑤「ジェンダー平等を実現しよう」。⑥「安全な水とトイレを世界中に」。⑦「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」。⑧「働きがいと経済成長」。⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」。⑩「人や国の不平等をなくそう」。⑪「住み続けられるまちづくりを」。⑫「つくる責任、つかう責任」。⑬「気候変動に具体的な対策を」。⑭「海の豊かさを守ろう」。⑮「陸の豊かさを守ろう」。⑯「平和と公正をすべての人に」。⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」になります。

今後、少しでも達成に近づくため、国も県も様々な取組を行っています。令和4年度の県民世論調査の結果からは、若者を中心にSDGsへの関心の高まりが見てとれます。

最後に、私たちができることを簡単に紹介させていただきます。国や大企業でないと取り組めない大きな目標がある一方で、個人でできる取組もたくさんあります。今後も継続していただくとともに、もう一步踏み込んだ取組にもチャレンジしていただけたらと思います。

最後に仕事編です。「三方よし」という近江商人が大切にしていた、信頼を得るために、売り手と買い手がともに満足し、さらに社会貢献もできるのが良い商売であるとの考えです。買い手や世間・環境のために何ができるか。農業分野なら、土木分野なら、教育分野なら何ができるか、考えていただけたらと思います。

県では県内事業社のSDGsの取組を推進する「こうちSDGs推進企業登録制度」を運営しております。是非ご活用いただけたらと思います。

本日はどうもありがとうございました。

【ニコニコ箱】

永富会員：遠いところ20分間の為にありがとうございました。

青木会員：母の葬儀で大変お世話になりました。ありがとうございました。

【出席報告】 ・会員総数55名（免除会員6名）

・本日の出席/34名 72.34%

・先週の訂正

MU8 69.57%→78.86%